

# 横浜スキー協会 定例評議員会議事録

平成30年7月29日(日) 14時00分～16時00分

場所：かながわ労働プラザ 第5、第6会議室

## 1 開会

## 2 評議員会成立確認

- ・評議員 17名出席、委任状 27名、合計 44名で総評議員数 85名の過半数越え、成立

## 3 会長挨拶 山田

- ・名誉会長の須藤氏が3月にご逝去、ご冥福をお祈りします。
- ・一昨年度の体制変更を踏まえ、組織のスリム化と執行改善をしてきた。
- ・各行事には保険を付保、ジュニアは競技部へ移管し、9月からのスノーヴァから一貫して指導した。
- ・1月の市民スキーは大盛況、その他行事も実施、但し市町村大会は相模原に8連覇を許した。
- ・70周年記念行事は、11/4(日)にワークピア横浜にて開催予定、協力をお願いします。
- ・パワハラ等の問題に対しては、組織で対応する。
- ・各行事に参加頂いた各クラブのご協力に感謝いたします。

## 4 来賓挨拶 SAK 吉野競技本部長

- ・やっと会員の減少傾向に歯止めがかかった、これも各協会のご努力、感謝いたします。
- ・大会参加者にジュニアが増、これも各協会の取組のおかげで、今後もよろしくお願ひします。

## 5 議長任命 横浜YYSCの千葉氏

## 6 議事録署名人任命 横浜SCの大内氏

## 7 書記任命 執行部 森山・五月女理事両名

## 8 理事長報告 河邊理事長(資料p1により報告)

- ・ジュニア及び競技事業参加者減少が著しく、また登録会員数減少が登録料値上げを上回り、協会全体では大きな赤字決算となった。
- ・ジュニア行事は赤字だが評価は良かった。
- ・事故増加を受け、協会として賠償責任保険に加入した。
- ・課題は4つ、

競技部事業見直し → 他団体との合同開催検討  
会員数減少 → 横浜市、市体協と連携を検討  
協賛企業 → 今は1社のみ（協賛金）  
組織スリム化 → 会議費等経費削減に努める。

## 9 議題

### 第1号議案

#### （1）教育部 島村部長

##### ア 市民スキー教室

- ・好評、すぐに埋まる、7割はクラブ員ではなく一般横浜市民。市民のニーズがあると言うこと。
- ・ここは市協がしっかりやっていく部分である、6割は家族連れかシニア夫婦層
- ・だからこそ、この教室にも各クラブの皆さんと連携したい。
- ・参加者からは次のステップへの要望もある、クラブ員勧誘の場としてご活用されたい。
- ・協賛企業へも広報しているので、景品系が充実してそれが参加者増に繋がっている。

##### イ ファミリースキー教室

- ・苦戦している、定員割れでバス運行も危うい。
- ・要因は、春休み後半なので一般市民はスキー意識が薄く、保護者が金曜に休みづらい。
- ・そこで、土日日程や会場選定の工夫をしたい。

##### ウ 指導員検定受検サポート

- ・手厚くサポートを3年やってきた、好評で結果も出せてきている。
- ・問題は、受検者が増加しないこと、受検はしても教える生徒がいないとか、自分のゴールのために受検しているなどの多様化がある。
- ・そこで、指導技術のみではなく、スキーの楽しさを教えるようなプログラムを検討する。

#### （2）競技部 坂田部長

##### ア ジュニア育成事業（補助事業）

- ・スノーヴァ行事と教室とポールトレーニングを実施、課題は多かった。

##### イ 市民大会

- ・参加者減により赤字、メダル等経費削減しても追いつかない、来年度は参加費の値上げ予定

##### ウ 市町村対抗大会

- ・フルエントリーできず、相模原に勝てない。ノルディックが課題。

##### エ 横浜マスターズ兼シティカップ

- ・参加者減により赤字、また保護者が怪我したが、協会保険の対象外であった。

- ・チラシを市内スキーショップへ配布した、今後も情報を提供し、配布をお願いしたい。

### (3) 総務 河邊理事長

#### ア 貸借対照表・正味財産増減計算

- ・未収入金をゼロにできた。
- ・登録料は減少、行事収益は伸びた、協賛金は厳しいので上部団体を見習いたい。
- ・接待交際費が伸びているが、香典等が増加したため。
- ・会議費は作業費を雑費に振り替えた為減少。
- ・消耗品費はジュニア事業用備品購入のため増。
- ・競技部収支が約120万円の赤字と厳しい、教育部はトントン、管理部門は少し黒字、今回から管理部門から保険料を支出している。
- ・今回は赤字計上したが、以前の水準でもある、今後立て直したい。
- ・H27からH28の伸びは、会員登録料値上げと市民教室の収益。
- ・H29計画はかなり伸ばしたものであった、H30は現実的な計画としている。

### (4) 監査報告 p34のとおり

### (5) 質疑

#### Q1 日立横浜スキー部 辻内評議員

- ・メダルをやめたということだが、オリンピックでメダルがないのは考えられない、要再考。
- ・ジュニア行事について、長野県連に聞いたが、アルペン選手にノルディックをやらせるとポジションが良くなる効果がある、強化になるのでレンタルでも良いので取り入れてはどうか。
- ・競技部の実際の競技力向上事業について、評価を参加者人数ではなく実力向上を評価対象にしてはどうか。
- ・決算のなかに未払い金があるが、これは要解消。
- ・顧問経費はお願いして棒引きしてもらってはどうか。

#### A1

#### 河邊理事長

- ・まず顧問経費について、顧問会計士への未払い金である、顧問への支払いはない。

#### 坂田部長

- ・メダルは常連さんが多い、またシティカップもない、メダル代は15万円と大きい。
- ・ジュニアへのノルディック導入は既に市町村対抗大会の中で出場してもらっている。
- ・評価の見える化については取り組みたい。